

令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第8回）

日 時：令和3年7月2日（金）10:00～

場 所：審議会室

次 第

1 開 会

2 黙 禱

3 本 部 長（知事）挨拶

4 議 事

（1）“緑の流域治水”の主な取組状況の報告

資料1

（2）重点10項目の進捗状況の報告

資料2-1

資料2-2

（3）その他の復旧・復興の取組状況の報告

資料3

5 そ の 他

6 閉 会

“緑の流域治水“
(球磨川水系流域治水プロジェクト)
の主な取組状況について

令和3年(2021年)7月2日
熊 本 県

球磨川水系流域治水プロジェクトのロードマップ

○計画的に事業の進捗を図るため、説明会や測量など事業着手に向けた取り組みを進めているところ。

対策内容	実施主体	工程		
		第一段階(概ね5年)	第二段階(~R11)	以降(R12~)
河道掘削(中流部)【緊】 河道掘削(人吉地区)【緊】 河道掘削(拡幅部)(人吉地区)【緊】 引堤【緊】 輪中堤・宅地かさ上げ【緊】 遊水地整備【緊】 河道掘削、堤防補強対策(下流部) 高潮、耐震対策(下流部) 利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施 (自治体、企業)【緊】	国土交通省			
流水型ダム・市房ダム再開発【緊】	国土交通省・熊本県			

対策内容	各対策の実施概要
河道掘削	【実施箇所】 萩原付近～市房ダム区間 等(直轄管理区間、権限代行区間) 【河道掘削量】約320万m3 ・河川の流下断面積を拡大して、河道の流下能力を向上させる。掘削土の運搬・処分や仮置き場の確保が課題となることから、まちづくり等への有効活用を図る。実施にあたっては、上下流の治水安全度のバランスを考慮するとともに瀬・淵、生物等へ配慮し、掘削の進捗を図る。
引堤	【実施箇所】 渡地区付近 【実施量】延長約600m程度、最大幅50m程度 ・引堤は、堤防間の流下断面積を増大させるため、堤内地側に堤防を新築し、旧堤防を撤去する。堤防を引くために必要となる用地取得を先行して進める必要がある。実施にあたっては上下流の治水安全度のバランスを考慮する必要がある。
輪中堤・宅地かさ上げ	【実施箇所】 遙拝堰付近～一勝地付近 【実施目標高】 治水対策後の水位(計画高水位+余裕高さ相当) ・輪中堤は、ある特定の区域を洪水の氾濫から防御するため、その周囲を囲んで設けられた堤防である。併せて宅地のかさ上げ(宅地の地盤高を高くしたり、建築構造を工夫する)を実施することで浸水被害の抑制を図る。
遊水地	【実施箇所】 渡地区付近～市房ダム付近 【洪水調節計画容量】約600万m3 ・河川に沿った地域で、洪水流量の一部を貯留し、下流のピーク流量の低減を図る。農地等の利用を保全し洪水時のみ貯留する「地役権補償方式」と、現地盤を掘り下げ、調節容量を確保する「掘り込み方式」の検討を行う。
利水ダム等6ダムにおける事前放流等の実施	・令和2年5月に「球磨川水系既存ダム洪水調節機能強化に係る協議会」で締結した治水協定に基づき、事前放流を実施する。 ・緊急時の洪水調節に既存ダムの有効貯水容量を最大限活用できるよう、洪水調節機能の強化や予測精度向上等について、関係機関連携のもと、取組を推進していく。
流水型ダム 市房ダム再開発	・「流水型ダム」について、治水と環境の両立を目指し調査・検討を行う。 ・現況の洪水調節機能の更なる強化を目的として市房ダム再開発の調査・検討を行う。

① 河川区域での対策(輪中提・宅地かさ上げ・引堤・遊水地)

事業説明会

○国・県・関係市町村が連携のうえ、対象となる各地区で事業説明会を
令和3年2月から順次開催(八代市7回、芦北町3回、人吉市4回、相良村3回、球磨村3回)



八代市 事業説明会 (R3.3)



芦北町 事業説明会 (R3.3)



人吉市 事業説明会 (R3.2)



相良村 事業説明会 (R3.4)



球磨村 事業説明会 (R3.3)

地区別懇談会等

○上記事業説明会の内容も踏まえ、復興まちづくりに向けた地区別懇談会等を開催



人吉市 地区別懇談会 (R3.6)



八代市「復興まちづくり計画」策定懇談会 (R3.6)



球磨村 地域再生協議会 (R3.5)

① 河川区域での対策(輪中堤・宅地かさ上げ・引堤・遊水地)

今後の事業進捗について

■ : 実施中 □ : 予定



○事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明後、令和3年4月から現地調査(測量等)を実施中。

○今後は現地調査が完了次第、④設計・検討を行い、⑤設計の説明会にて具体的な計画を提示予定。

■家屋敷高調査状況 (R3.4.9～)



輪中堤・宅地かさ上げの設計・検討に向けた家屋敷高の測量状況 [球磨村]

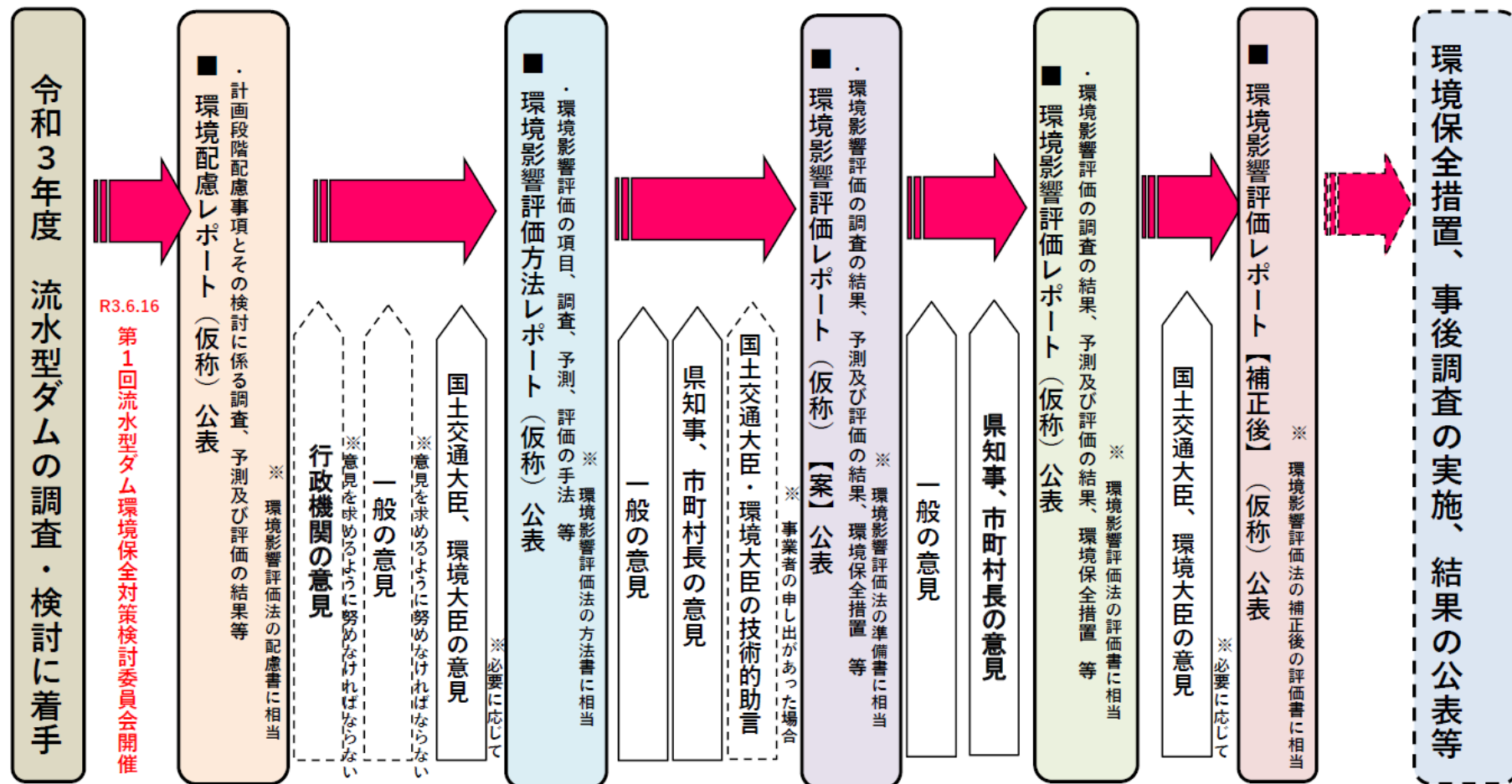
■ドローン調査状況 (R3.5.25～)



遊水地の設計・検討に向けた測量(ドローン調査)状況 [球磨村]

② 「新たな流水型ダム」の取組みについて

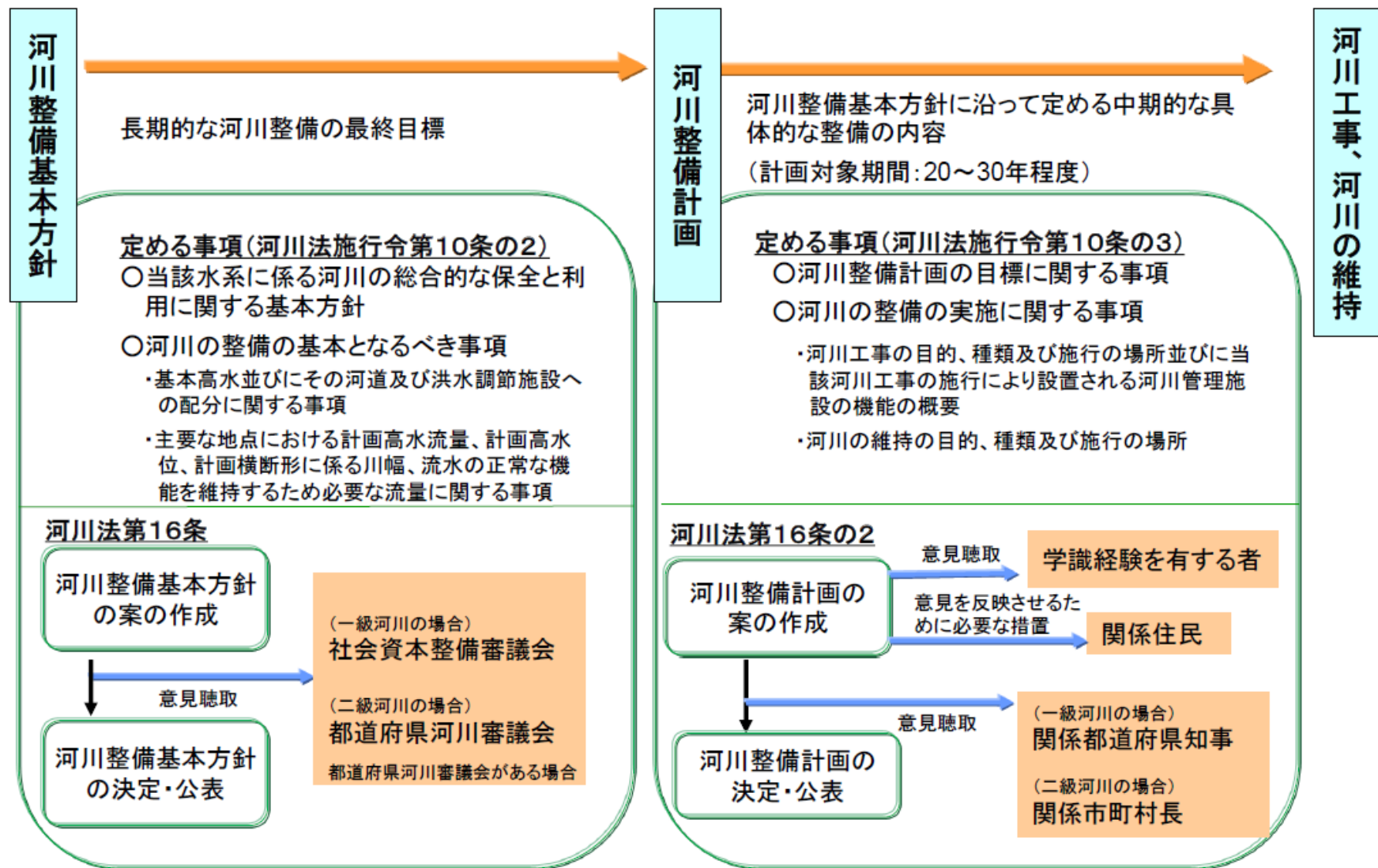
- 流水型ダムの構造などについて調査・検討に着手。
- これまで実施してきたダム関連の工事等による現地の状況も考慮しつつ、**環境影響評価法に基づくものと同等の環境影響評価を実施。**
- 環境影響評価法等に基づくものと同様に環境影響評価項目を設定して、環境影響の調査、予測、評価を実施。また、各段階で知事・住民等・環境大臣の意見を求める。



③ 河川整備基本方針、河川整備計画について

○令和2年7月洪水が、平成19年に策定した「球磨川水系河川整備基本方針」の基本高水のピーク流量(人吉地点7,000m³/s、横石地点9,900m³/s)を上回るピーク流量を記録したことから、「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」における提言も踏まえ、**気候変動を踏まえた河川整備基本方針の見直しに着手**。

○河川整備基本方針の見直しに続き、河川整備計画の策定を行っていく。



“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目 資料2-1 ¹

項目

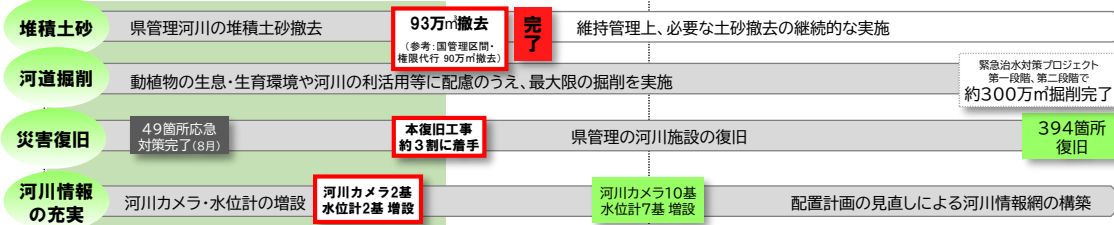
R2年度

R3年度

R4~R5年度

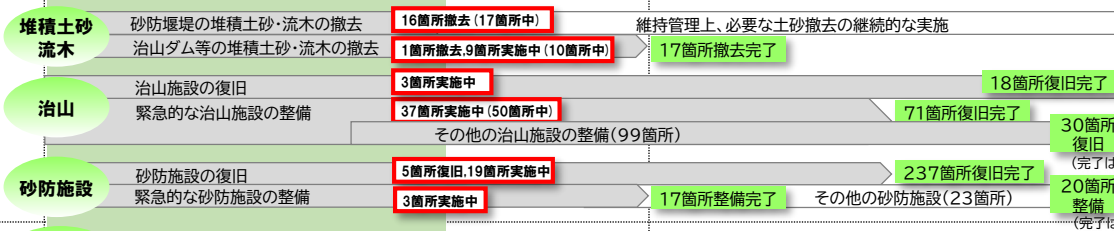
R5年度末 到達イメージ

1 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策



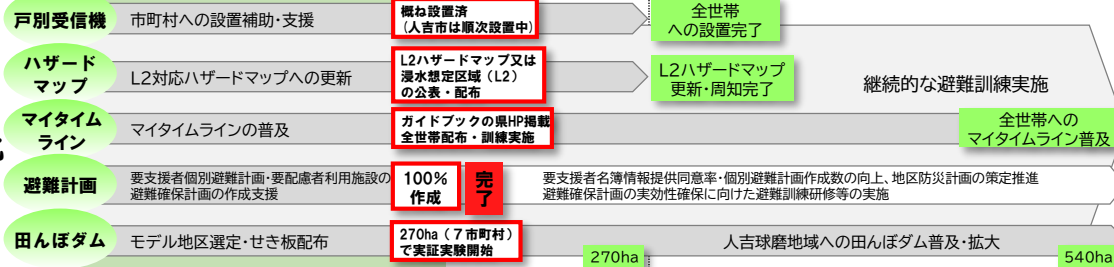
○堆積土砂の撤去完了
○計画的な河道掘削・河川施設の復旧の実施

2 治山・砂防による山の再生・強化



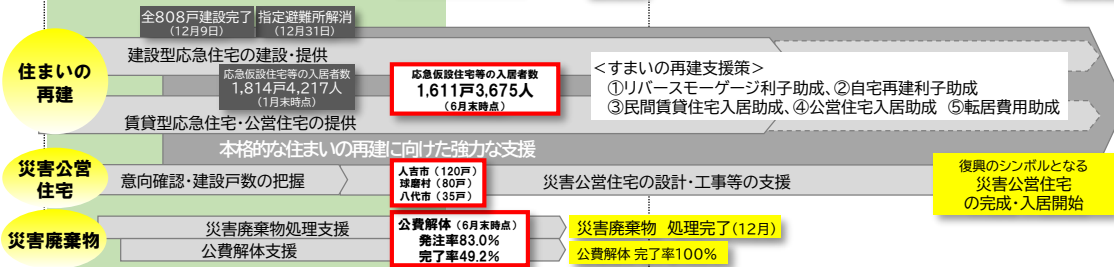
○緊急的な治山・砂防施設の復旧・整備完了

3 “いのち”を守る防災・減災力の強化



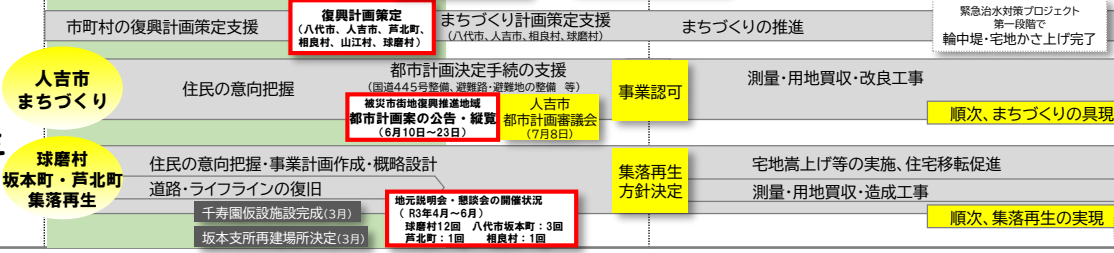
○全世帯への戸別受信機等の設置とL2ハザードマップの更新・周知
○マイタイムラインの全世帯への普及
○要支援者等の避難計画100%作成
○人吉球磨地域への田んぼダム普及・拡大

4 本格的な住まいの再建



○被災された方々お一人お一人の意向に沿った住まいの再建・確保の完了
○発災1年半以内での災害廃棄物処理完了

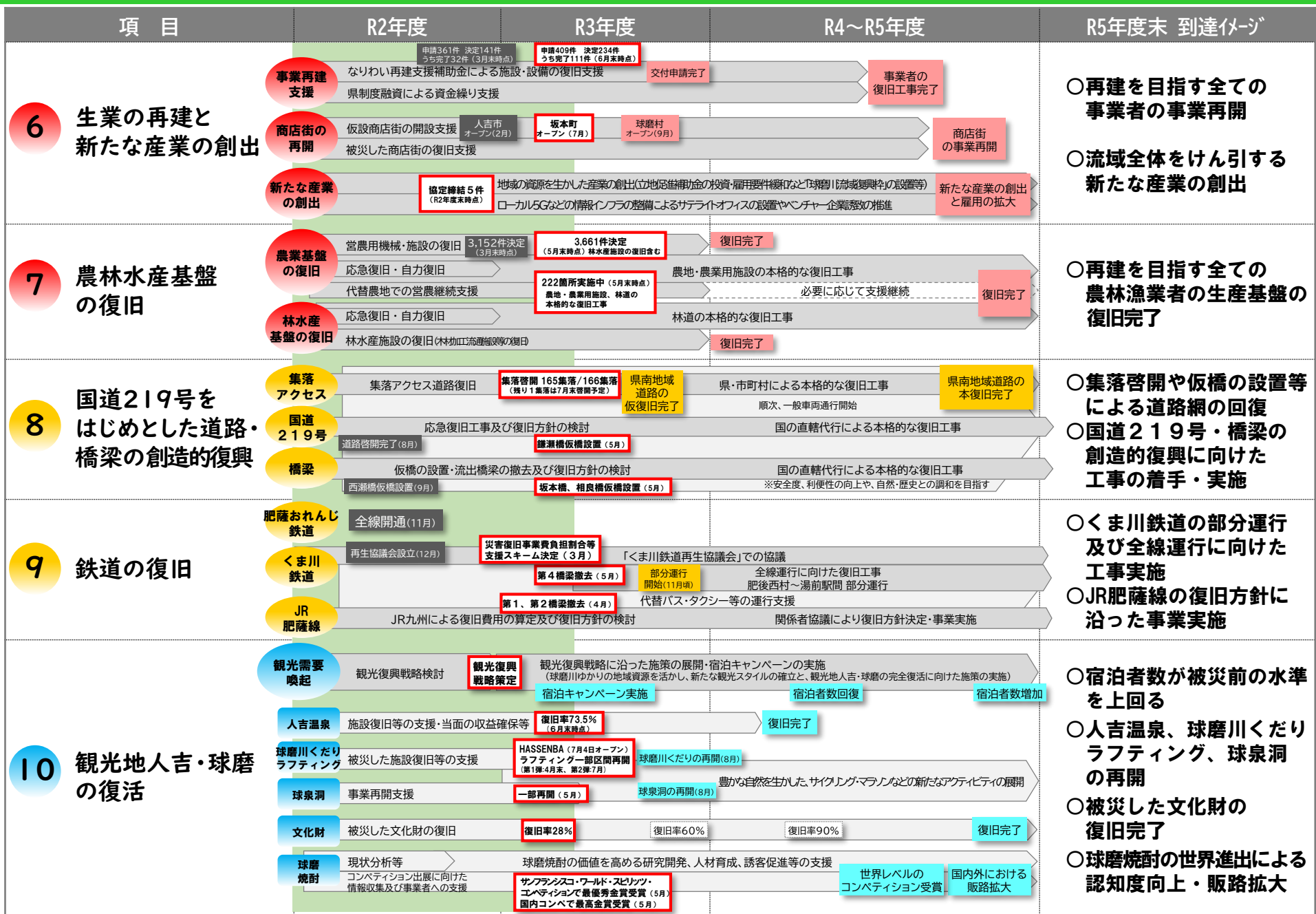
5 被災地のまちづくりと集落再生



○甚大な被害を受けた地域のまちづくり・集落再生の実現

※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含まれません。

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目



※上記の達成率等には、特別な事情により復旧等が困難な場合は含まれません。

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた 重点10項目の進捗状況

令和3年(2021年)7月2日
熊 本 県

“緑の流域治水”の推進と復旧・復興に向けた重点10項目

- 1 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策
- 2 治山・砂防による山の再生・強化
- 3 “いのち”を守る防災・減災力の強化
- 4 本格的な住まいの再建
- 5 被災地のまちづくりと集落再生
- 6 生業の再建と新たな産業の創出
- 7 農林水産基盤の復旧
- 8 国道219号をはじめとした道路・橋梁の
創造的復興
- 9 鉄道の復旧
- 10 観光地人吉・球磨の復活

1 堆積土砂の撤去など河川の緊急対策

- 令和2年7月豪雨等により堆積し、特に緊急で撤去が必要な土砂について、令和3年5月末までに約93万 m^3 ※(計画値:85万 m^3)の撤去が完了。引き続き、国土強靱化に伴う事業や緊急浚渫推進事業を活用し、計画的に河川の流下能力を向上させていく。 ※ 球磨川流域市町村及び津奈木町分
- 堤防や護岸が被災した河川については、本復旧に向け、これまでに約3割の災害復旧工事に着手。
- 河川情報の充実を図るため、令和3年3月末時点で河川カメラ2基、水位計2基を増設。今後も配置計画を検討のうえ、増設を実施。

堆積土砂撤去(免田川・あさぎり町)



災害復旧工事着手(川辺川・相良村)



河川カメラ・水位計の増設(万江川・山江村)



2 治山・砂防による山の再生・強化

- 砂防堰堤の堆積土砂・流木撤去は、**令和3年6月末までに16箇所**で撤去が完了。進入路が被災した1箇所はセンサーを取り付け、下流集落に危険を周知する対策を実施。
- 砂防施設の復旧は、**令和3年6月末までに5箇所**が完了し、**19箇所**で工事を実施中。
- 緊急的な砂防施設の整備は、**3箇所**で工事を実施中、14箇所は工事着手に向け準備中。
- その他の砂防施設は、23箇所全てについて、次年度以降の工事着手に向け準備中。

砂防堰堤の堆積土砂等撤去(牧良川・湯前町)



砂防堰堤応急対策(大坪川・津奈木町)



砂防堰堤応急対策(川内川・球磨村)



急傾斜施設応急対策(塩尾・芦北町)



急傾斜施設応急対策(上村・芦北町)



2 治山・砂防による山の再生・強化

- 治山ダムに堆積した土砂・流木の除去等を令和3年5月末時点で1箇所完了、9箇所で実施中。
- 被災した治山施設の復旧3箇所及び、危険な山地崩壊箇所における治山施設整備37箇所について工事を実施中。
- 全国に先駆け、5月10日より山地防災パトロールを県内全域で198カ所行い、調査結果を地域住民へ説明会等を通じて周知するなど災害発生時の避難行動につながる注意喚起を実施。

土砂・流木等の除去



被災治山施設の復旧、緊急的な治山施設の整備



2次災害防止に向けた
応急対応を取りながら復旧



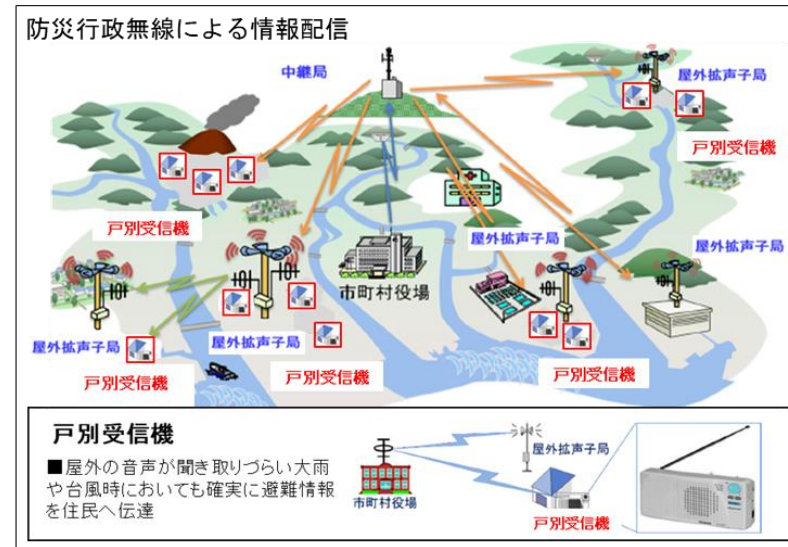
山地防災パトロールの実施



3 “いのち”を守る防災・減災力の強化①

戸別受信機等の設置

- 11町村において全世帯または希望世帯に設置済
【芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村】
- 住民に対し一斉に情報配信するシステムの運用を開始済。
住民は、スマホアプリ、携帯メール、屋外拡声子局、戸別受信機、電話、FAXなど、希望する方法で登録し情報を受信。
【八代市】
- 防災ラジオ送信局整備済。
防災ラジオ(戸別受信機)は罹災世帯3,600世帯に順次配布中。
・7月中旬配布完了見込み。
・R3年度中に全世帯に配布【人吉市】



戸別受信機



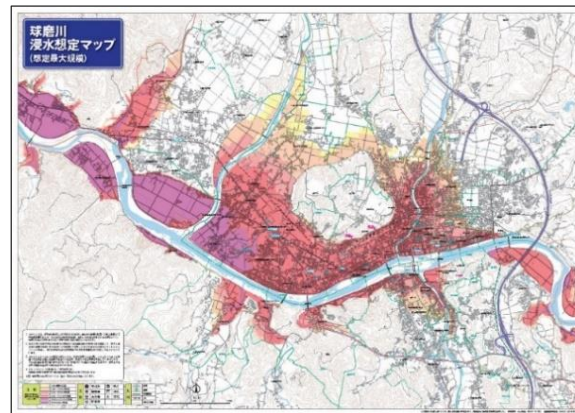
IP告知端末



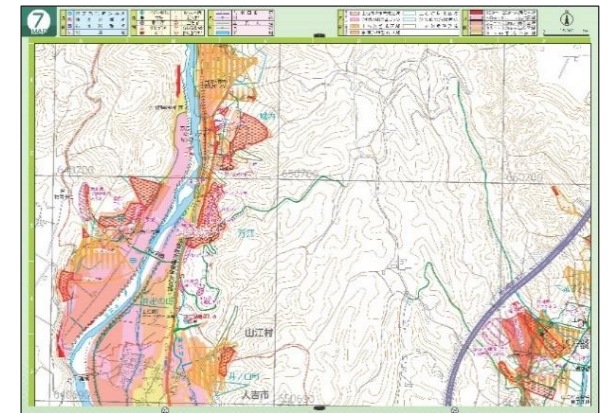
防災ラジオ

想定最大規模(L2)に対応したハザードマップの作成

- L2対応ハザードマップを作成・配布済。
【芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、山江村、水上村、球磨村】
- L2対応ハザードマップWEB版を作成・周知済。
【八代市】
- L2浸水想定区域図を配布済(R3年度中にL2対応ハザードマップの作成・配布)。
【人吉市、津奈木町、相良村】



球磨川浸水想定マップ(人吉市)



防災マップ(山江村)

3 “いのち”を守る防災・減災力の強化②

マイタイムラインの普及

- 一人ひとりの避難行動を時系列にまとめた防災行動計画「**マイタイムライン**」ガイドブックを県ホームページに掲載し、**また、概要版を全世帯に配布済**。
- 「マイタイムライン」を活用した**住民参加型訓練を実施**。
【球磨村(5/16)、多良木町(5/23)、人吉市(5/30)、芦北町(6/6)】



マイタイムライン作成の様子(多良木町)



避難訓練の様子(多良木町)



マイタイムラインガイドブック



マイタイムラインガイドブック概要版

要支援者個別避難計画・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成

- 避難行動要支援者個別避難計画
 - ・避難行動要支援者のうち名簿情報提供同意者の**個別避難計画作成率 100%**【13市町村】
 - ・県と市町村が連携した、**個別避難計画に基づく訓練を実施**。【人吉市(5/30)、球磨村(5/16)】
- 要配慮者利用施設の避難確保計画
 - ・要配慮者利用施設の**避難確保計画作成率 100%**【9市町村】
(錦町、湯前町、五木村、水上村は対象施設なし)
 - ・要配慮者利用施設による避難訓練実施に向けた研修会を開催。【173施設参加】

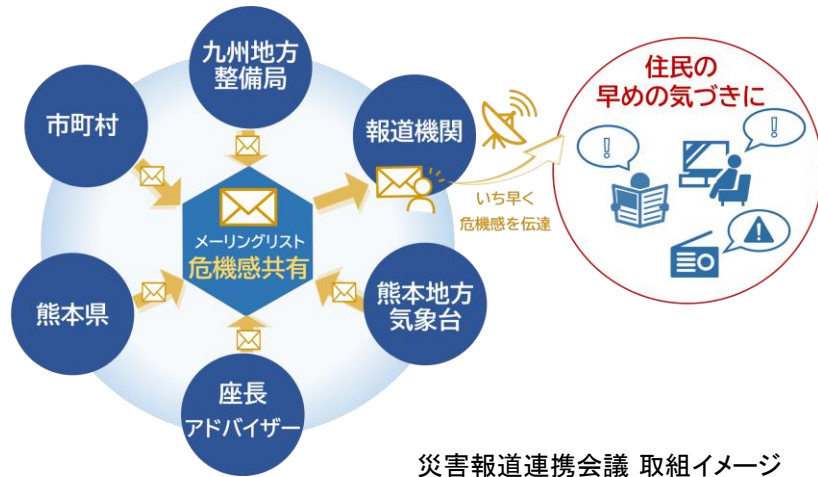


避難訓練の様子(人吉市)

3 “いのち”を守る防災・減災力の強化③

危機感共有と命を守る災害報道連携会議

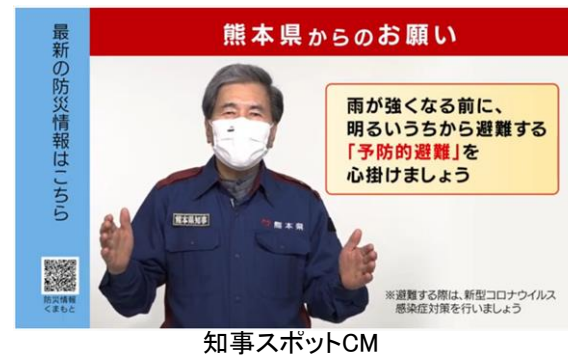
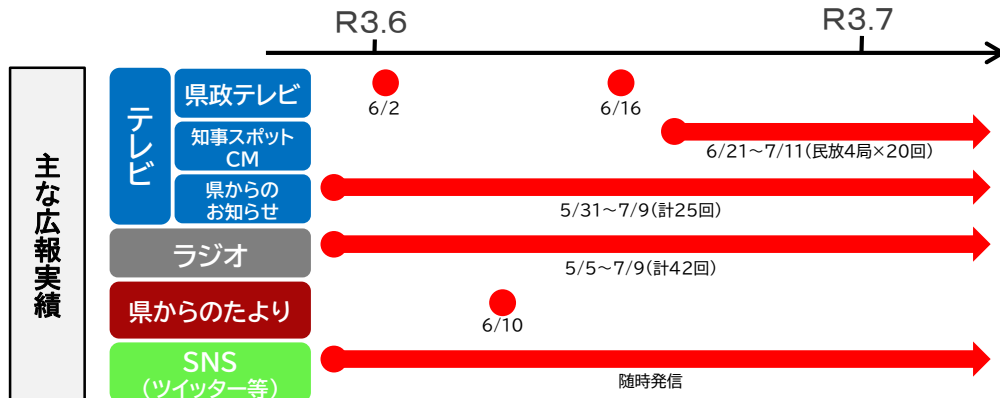
○球磨川流域を中心とする県南地域において、出水期の災害発生前からの危機感を高め、地域の住民の命を守るために、国・自治体や防災関係機関や報道機関が防災情報の共有を進め、地域の防災・減災力の強化に資することを目的として設置し、令和3年5月から前線性降雨への危機感の共有を試行。



災害報道連携会議発足会の様子

様々な媒体を活用した広報の実施

○テレビ、ラジオ、県からのたより、SNS等を活用した広報を実施。



3 “いのち”を守る防災・減災力の強化

地域と連携した田んぼダムの取組みによる緑の流域治水

- 流域7市町村の**水田270ha**で**地域と連携し田んぼダム実証実験を開始**。
- 「**田んぼダム効果等検証委員会**」を設置し、事業効果を検証しながら、更なる普及・拡大に取り組む。

地域との連携

～生産者と連携～



～学生等と連携～



田んぼダムへのせき板設置



田んぼダム効果検証



4 本格的な住まいの再建

○被災された方々に1日でも早く住まいを確保していただけるよう、県独自の5つの支援策等により、支援に取り組んできたところ。

○仮設住宅の入居者は令和3年6月末で1,611世帯(3,675人)と、1月末をピークに、減少に転じている。

○今後は住まいの再建が本格化していくため、市町村や地域支え合いセンター等と連携し、被災者一人一人の意向に寄り添った支援を進める。

◆仮設住宅等入居者数

	戸数	人数
R3.1月末 (ピーク)	1,814	4,217
R3.6月末	1,611	3,675

②地域支え合いセンターにおける訪問・交流



仮設住宅訪問(球磨村)



仮設住宅入居者交流会(八代市)

センター訪問件数(5月末時点累計): 27,585件

①住まい再建のための5つの支援策

再建を望む方

自宅再建の場合

【高齢世帯】 ※リバースモーゲージ制度

① 高齢者向け新型住宅ローン
(土地・建物を担保に、返済は利子分のみ) 月々1万円～

【全ての世帯】 ※子育て世帯を優遇

② 自宅再建 月々2万円～

賃貸住宅の場合

※仲介手数料・礼金など

③ 住み替え
初期費用の助成【一律20万円】

公営住宅の場合

④ 入居支度費用の助成【一律10万円】

全ての世帯

⑤ 転居費用
【一律10万円】

自宅再建

例: くまもと型復興住宅
建設費 約1,300万円
(税、付帯設備などを含む)

賃貸住宅

公営住宅

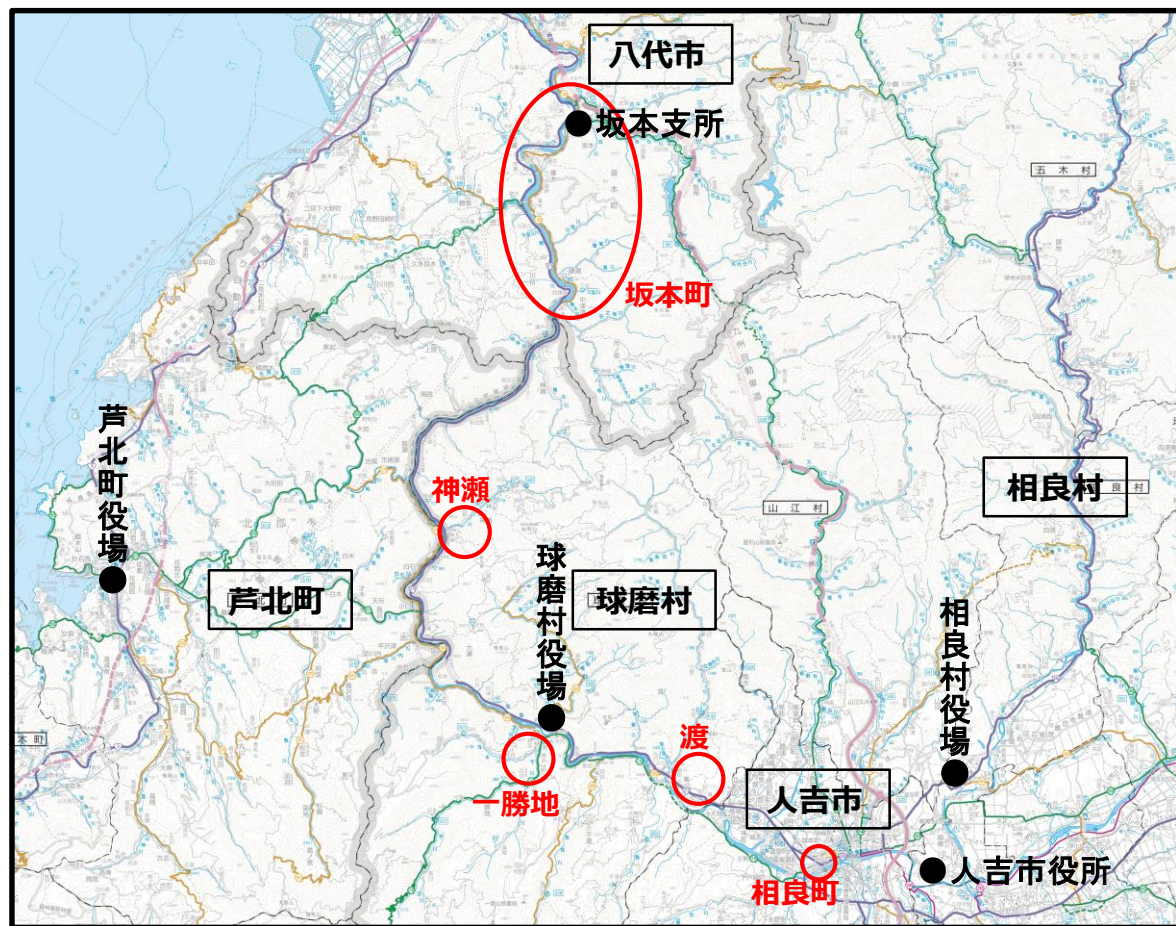
①5つの支援策を活用いただきながら、
②地域支え合いセンターにおける訪問や
交流等の活動を通して、

被災されたすべての方々が住まいの再建
を果たすことができるよう、引き続き寄り
添って、きめ細かな支援を進める

4 本格的な住まいの再建

【災害公営住宅】

- 市町村において被災者の意向調査や建設地の選定を実施中。
- 被災者の安全安心な住まいを確保するため、災害公営住宅が早期に整備されるよう、引き続き、市町村を支援。



《災害公営住宅の予定戸数・建設地》

市町村	予定戸数	予定建設地
八代市	10戸 5戸 5戸 5戸 10戸	藤本・大門地区1ヶ所 合志野地区1ヶ所 荒瀬地区1ヶ所 中津道地区1ヶ所 坂本駅周辺1ヶ所
人吉市	120戸	相良町1ヶ所
芦北町	未定	未定
相良村	未定	未定
球磨村	60戸 10戸 10戸	渡地区1ヶ所 一勝地地区1ヶ所 神瀬地区1ヶ所

4 本格的な住まいの再建

【災害廃棄物の処理】

○ 災害廃棄物の処理目標：令和3年12月(発災後1年半)で完了

- ◆ 片付けごみ：仮置場への搬入、災害廃棄物の処理とともに概ね完了。
- ◆ 公費解体：発注率が8割を超えるなど、12月の完了に向けて順調に推移。

○ 公費解体の進捗（R3.6月末） 発注件数：2,028件 [発注率：83.0%]
 [解体完了：15市町村/23市町村] 完了件数：1,201件 [完了率：49.2%]

⇒ 8月までに解体工事の発注は完了見込

片付けごみの処理
(人吉市大柿地区)

損壊家屋等の解体・撤去
(球磨村茶屋地区)

《公費解体の進捗状況の推移》



	申請件数 【A】	発注件数 【B】	完了件数 【C】	発注率 【B/A】	完了率 【C/A】
3月末	2,446	1,104	689	45.1%	28.2%
4月末	2,454	1,430	788	58.3%	32.1%
5月末	2,449	1,760	955	71.9%	39.0%
6月末	2,442	2,028	1,201	83.0%	49.2%

(市町村別の詳細は次頁)

【参考】[市町村別] 公費解体の進捗状況 (令和3年6月末)

市町村	申請件数 (A)		発注件数 (B)	完了件数 (C)		発注率 (B/A)	完了率 (C/A)		
	市町村発注分	所有者発注分		市町村発注分	所有者発注分				
1 八代市	294	289	5	262	106	101	5	89.1%	36.1%
2 水俣市	5	4	1	5	5	4	1	100%	R3.3月完了
3 芦北町	398	353	45	301	200	155	45	75.6%	50.3%
4 津奈木町	8	8	-	8	8	8	-	100%	R3.2月完了
5 人吉市	1,216	930	286	979	566	280	286	80.5%	46.5%
6 錦町	15	13	2	15	13	11	2	100%	86.7%
7 多良木町	2	2	-	2	2	2	-	100%	R3.2月完了
8 湯前町	3	-	3	3	3	-	3	100%	R2.11月完了
9 水上村	1	1	-	1	1	1	-	100%	R3.2月完了
10 相良村	64	59	5	64	56	51	5	100%	87.5%
11 五木村	1	1	-	1	1	1	-	100%	R3.2月完了
12 山江村	6	5	1	6	6	5	1	100%	R3.3月完了
13 球磨村	367	354	13	319	176	163	13	86.9%	48.0%
14 あさぎり町	5	4	1	5	5	4	1	100%	R3.1月完了
15 荒尾市	29	20	9	29	29	20	9	100%	R3.2月完了
16 玉名市	2	1	1	2	2	1	1	100%	R3.3月完了
17 南関町	2	2	-	2	2	2	-	100%	R3.3月完了
18 和水町	1	-	1	1	1	-	1	100%	R2.8月完了
19 菊池市	3	2	1	3	3	2	1	100%	R3.2月完了
20 合志市	1	-	1	1	1	-	1	100%	R2.11月完了
21 南小国町	4	3	1	4	3	2	1	100%	75.0%
22 小国町	6	6	-	6	3	3	-	100%	50.0%
23 天草市	9	8	1	9	9	8	1	100%	R3.6月完了
県計	2,442	2,065	377	2,028	1,201	824	377	83.0%	49.2%

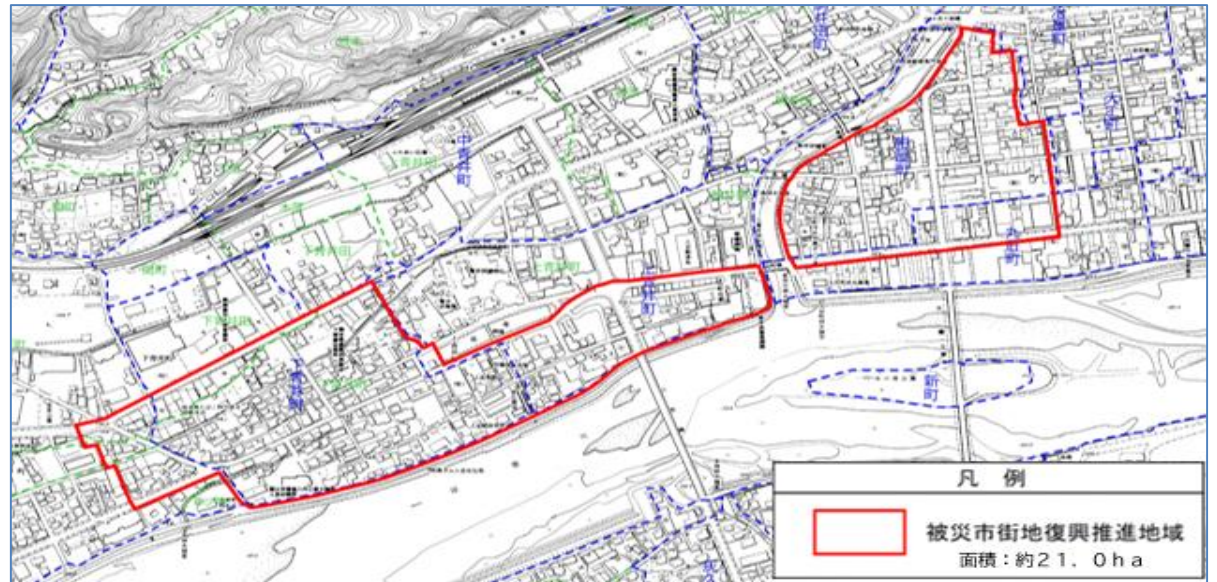
5 被災地のまちづくりと集落再生

被災市町村の復興計画・復興まちづくり計画の策定状況

- 復興計画の策定を目指した全ての市町村(八代市・人吉市・芦北町・相良村・山江村・球磨村)で、令和3年3月までに復興計画を策定済。
- 上記のうち、八代市、人吉市、相良村、球磨村がまちづくりや集落再生の具体的な取組を示す「復興まちづくり計画」を策定中。

まちづくり・集落再生の取組み(人吉市)

地区別懇談会を定期的に行うとともに、「被災市街地復興推進地域」の都市計画決定に向け、都市計画案の公告縦覧手続を実施(6/10~23)。7月8日に人吉市都市計画審議会を開催予定。



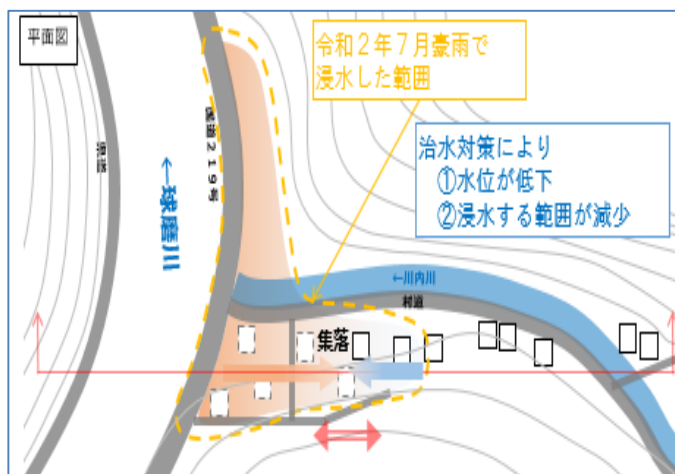
地区別懇談会の様子

5 被災地のまちづくりと集落再生

まちづくり・集落再生の取組み(球磨村・八代市坂本町・芦北町)

○被災地域のすまいの再建等に向け、地域別懇談会や住民アンケート等による住民の意向把握等の実施。

○宅地かさ上げや遊水地等の流域治水プロジェクトに掲げる事業検討に向けた測量を実施。



支所再建位置と地域別懇談会
(八代市坂本町)



集落再生のイメージと地域別懇談会
(球磨村神瀬地区)



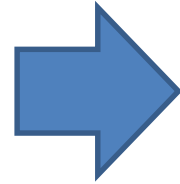
かさ上げ・遊水地等の検討に
に向けた測量の様子(国交省提供) 15

6 生業の再建と新たな産業の創出

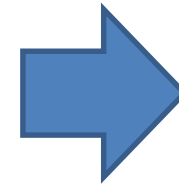
事業再建
支援

(1)「なりわい再建支援補助金」による施設・設備の復旧支援(R3.6.29時点)

補助金申請
409件



補助金の交付決定
234件



復旧完了
111件

復旧例

鮮魚店における復旧

大型車庫における復旧



復旧前



復旧後



復旧前






復旧後

(参考)
7月豪雨型
持続化補助金
採択件数443件

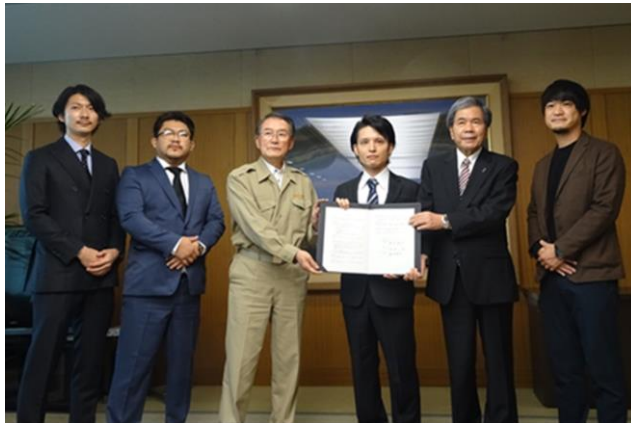
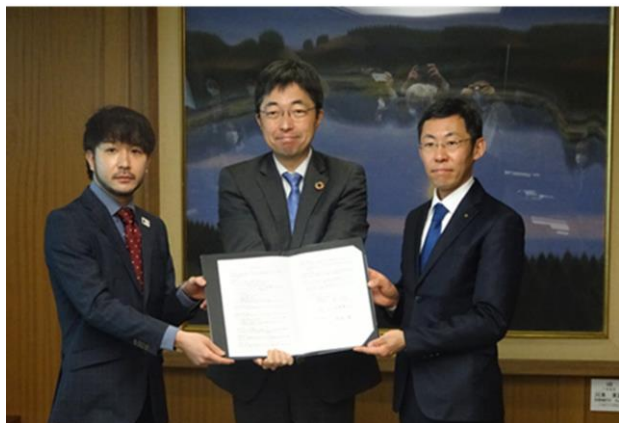
(2)「被災者等支援交付金」を活用した仮設商店街の開設支援

商店街の
再開

	人吉市		八代市	球磨村	
施設名 (所在)	①モゾカタウンひとよし駅前 (人吉駅前広場駐車場敷地内)	②モゾカタウンくまりば (総合交流館くまりば敷地内)	③ さかもと復興商店街 (道の駅「坂本」敷地内)	④ - (球磨村グラウンド 仮設団地内)	⑤ - (一勝地地区)
店舗数	23	3	9	4	3
開設時期	令和3年2月	令和3年2月	令和3年7月3日	令和3年9月(予定)	令和3年11月(予定)
現況	 ①モゾカタウンひとよし駅前	 ②モゾカタウンくまりば	 ③さかもと復興商店街	 ④球磨村グラウンド仮設団地	

(3) サテライトオフィスの設置等による産業の創出

市町村が所有する学校等遊休施設や空き家をサテライトオフィスに整備する際に支援を行い、被災地域へのIT企業等の誘致を後押し(球磨川流域で5件の協定締結)



企業立地促進補助金「球磨川流域復興枠」による産業の創出

球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、投資・雇用の要件緩和し、補助率を高め、新メニュー「球磨川流域復興枠」により、企業の誘致や産業の創出を推進。

「令和2年7月豪雨」災害からの「創造的復興」に向けた

球磨川流域復興枠の創設！

(熊本県企業立地促進補助金)

要件を満たすと
補助率最大 **2** 倍！

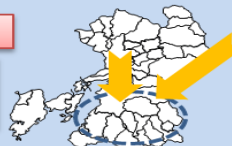
球磨川流域市町村等への立地を推進！

球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、「球磨川流域復興枠」を創設しました！



制度改正【球磨川流域復興枠】

県 補助 企業



地域復興の投資を推進



創造的復興

県内初の台湾航路新規就航！
八代港(毎週土曜日運航)

7 農林水産基盤の復旧

- 生産者による農地の自力復旧や機械・施設の修繕・取得等について令和2年度に要望のあった3,661件全てを支援。併せて、被害が甚大であった地域における要望調査を行うなど支援を継続。
- 県及び市町村による農地・農業用施設、林道の本格的な復旧に向けた工事を加速。
(着手件数:3月末 84件→5月末 222件)

被災状況



一日も早い農林水産業の再開に向けた基盤の復旧を全力で推進



芦北町:樹園地

廃土による樹園地の復旧



多良木町:葉たばこ

機械の再取得による営農再開



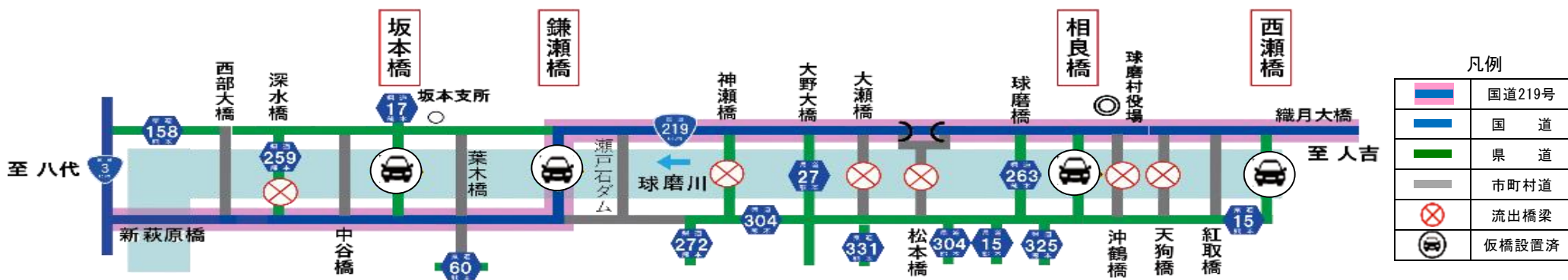
あさぎり町:ハウス

事業活用による倒壊ハウスの復旧

なりわいの早期再生

8 国道219号をはじめとした道路・橋梁の創造的復興

- 集落アクセスは、**令和3年4月末までに165集落へのアクセス道路の復旧が完了**。残り1集落についても、令和3年7月末にアクセス道路の復旧完了予定。
- 国道219号は、応急復旧工事を継続中。国と連携し、復旧方針の検討を行っている。
- 球磨川に架かる橋梁については、流出した10橋梁のうち、**令和3年5月末までに鎌瀬橋など4橋の仮橋が完成**。



9 鉄道の復旧

肥薩おれんじ鉄道

◆ 令和2年11月1日全線開通

写真提供: 肥薩おれんじ鉄道



JR肥薩線

◆ 球磨川第1橋梁撤去(鎌瀬～瀬戸石間) 写真提供: JR九州



◆ 第二球磨川橋梁撤去(那良口～渡間)



◆ JR九州が復旧費用の算定及び復旧方針を検討中

◆ JR肥薩線(R2.9～現在)・くま川鉄道(R2.7～現在)に係る通学支援

くま川鉄道

◆ 災害復旧事業費負担割合等支援スキーム決定

➢ 「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業」負担割合

国 1/2	県 1/4	地元市町村 1/4
-------	-------	-----------

➢ 上下分離後の鉄道施設等の保有主体

復旧後の車両の保有、 列車の運行主体(上)	くま川鉄道株式会社
復旧後の鉄道施設等の 保有主体(下)	県と地元10市町村で構成する法人

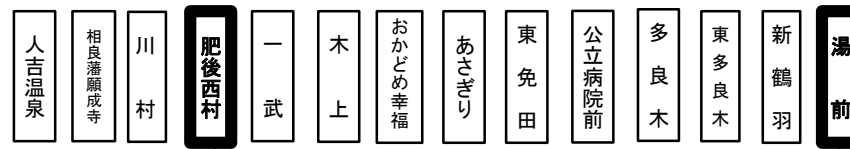
◆ 球磨川第4橋梁撤去

写真提供: くま川鉄道



◆ 部分運行再開

令和3年11月頃の『肥後西村～湯前駅間』部分運行再開を目指す



不通区間 (5.9km)

部分運行再開区間 (18.9km)

10 観光地人吉・球磨の復活①

○観光地人吉・球磨の復活に向けた観光需要喚起

人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略の策定（R3.3.31）

○人吉球磨地域の観光地域としての創造的復興を目指し、観光関連事業者、市町村等との「観光復興会議」を重ね、『人吉球磨豪雨被災地観光復興戦略』を策定。

観光復興への取組みの方向性

1 豊かな自然を生かした球磨川ゆかりの新たなツーリズムの創造

2 まち並みや地域の資源を生かした宿泊を促す観光コンテンツの充実

3 伝統や文化とIoTを融合させるスマート観光の推進

まち灯り実証実験



青井阿蘇神社

○人吉球磨地域をモデル地とするアニメ「夏目友人帳」とコラボしたPR動画を公開。

○地元の皆様から「感動して涙が出た」「この景色を取り戻したい」等の声をいただき、心の支援にもつながっている。

人気アニメ「夏目友人帳」とのコラボ動画の公開（R3.4.21）

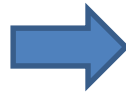


©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会

10 観光地人吉・球磨の復活②

○人吉温泉の復興状況

主要宿泊施設37軒のうち
26軒が被災



令和3年6月末時点で
全体の73.5%が営業中
(9軒が復旧中)

被災直後



現在

○球磨川くだり・ラフティングの復興状況

被災直後



令和3年夏の再開に
向けて準備中



HASSENBA (R3.7.4再開)

○球泉洞の復興状況

被災直後



令和3年8月の再開に
向けて準備中
※食事処のみR3.5.1に再開

現在

○文化財の復興状況

指定文化財等の
被災文化財数83件



令和3年度末までに
6割弱の復旧見込み

被災直後



拝殿床下浸水
楼門1.8m冠水

青井阿蘇神社

現在



拝殿等の国宝建造物は
令和3年度中に修復完了

10 観光地人吉・球磨の復活③

○ 球磨焼酎の“トップ・オブ・ザ・ワールド戦略”

○大学・企業とのコラボ、コンペティションの受賞状況等

- ◆熊本大学が特許庁主催の地域ブランド総選挙で優秀発掘賞を受賞 (R3. 2月)
- ◆熊本大学が球磨焼酎をテーマにした集中講義を開始 (R3. 5月～)
- ◆日比谷花壇とコラボし、球磨焼酎と桜の盆栽のセット販売企画を実施 (R3. 2月)



- ◆サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティションにて、高橋酒造が最優秀金賞を受賞 (R3. 5月)



「The SG Shochu KOMÉ」
(高橋酒造)
※SGグループと共同開発

- ◆東京ウイスキー&スピリッツコンペティションにて、2蔵が最高金賞を受賞 (R3. 5月)



(こだいっこ)
「古代一壺」
(六調子酒造)

「jin jin GIN」
(高田酒造場)

○イベント出展等による復旧・復興の情報発信



人吉市 (R3. 3月)
ホームパーティー



熊本市 (R2. 10月)
熊本復興支援 未来へエール



福岡 (九電)
被災地物産マルシェ



福岡 (博多大丸)
球磨焼酎フェア



大阪 (阪急阪神HD)



東京 (銀座熊本館)

【復興統一ラベル】
(希球・Reborn)
売上の一部が被災蔵元の支援に使われる。



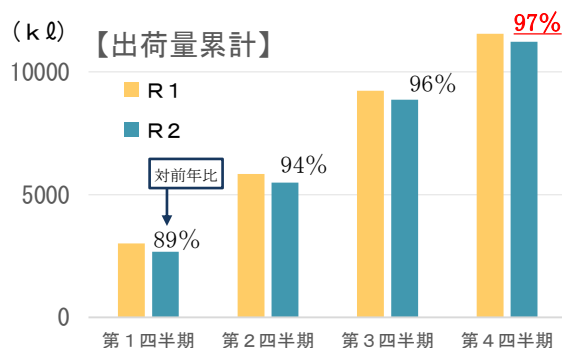
希球ラベル
(球磨焼酎酒造組合)



Rebornラベル
(球磨焼酎蔵ツーリズム協議会)

➤ 球磨焼酎の復興状況

球磨焼酎の出荷量は新型コロナウイルス感染症や7月豪雨の影響により落ち込んでいたが、創造的復興に向けた多面的な取組みにより、**前年度と同程度の出荷量を確保**



【球磨焼酎出荷量】

R1年度: 11,500kL ⇒ **R2年度: 11,200kL (約97%)**

【被災蔵元の状況】

(大和一酒造元)
被災後に製造した焼酎の出荷再開 (R3. 4月)



その他の復旧・復興の取組状況の報告

令和3年(2021年)7月2日
熊 本 県

令和2年7月豪雨に係る職員確保状況(令和3年度分)

- 被災11市町村から計101人の派遣要望あり(令和3年6月1日時点)。
- これに対して、全国の自治体から計62人の中長期(最短1カ月～最長1年程度。以降は更新。)の職員派遣が決定し、4月1日から受入れ(前年度からの継続派遣を含む)。
- これに加え、任期付職員等23人も業務に従事。
- 未充足の16人分については、引き続き、全国の自治体に対し職員派遣を要請するとともに、被災市町村における任期付職員の採用や民間委託等による対応を促していく。
- 併せて、関係広域本部・地域振興局において、農業土木・土木分野を中心に、復興事業の促進に向けた技術的助言等を行っていく。

(単位:人)

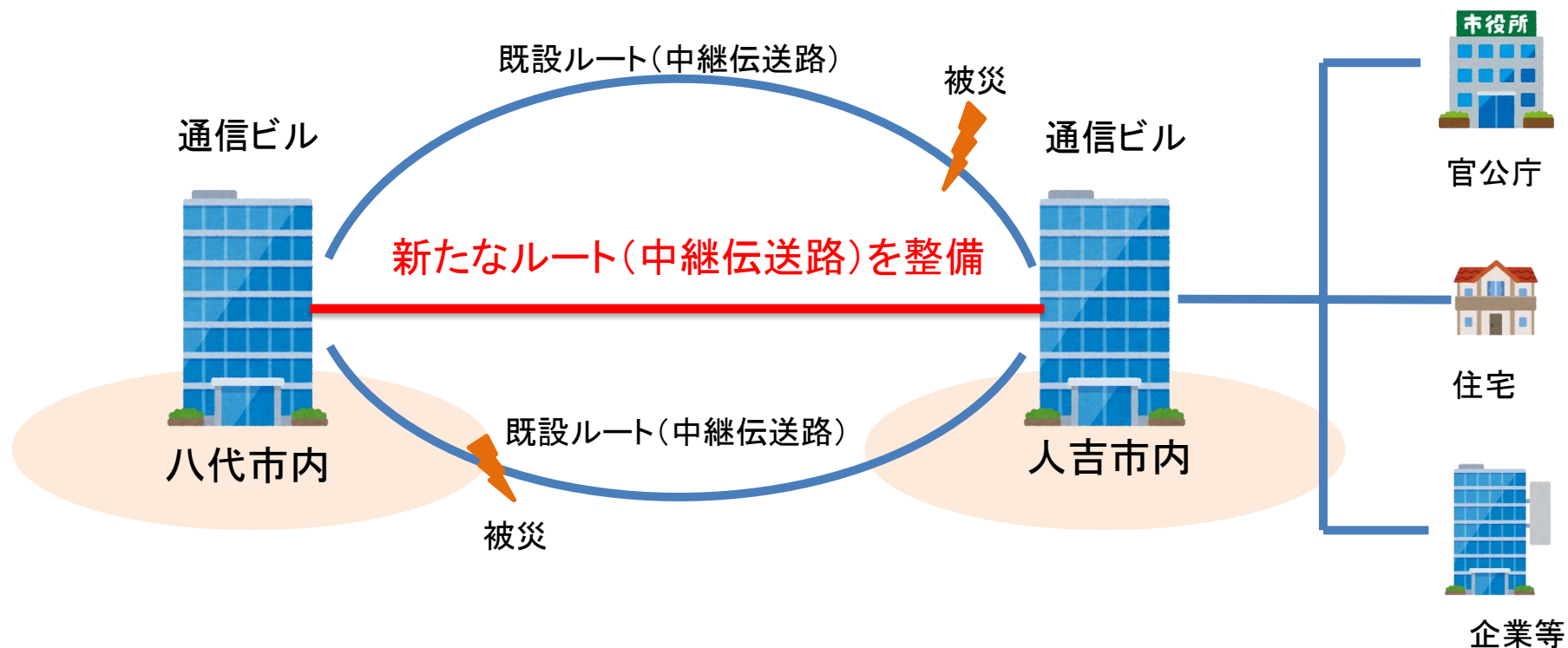
市町村	要望数
	R3/6/1時点
八代市	10
人吉市	28
小国町	4
芦北町	11
津奈木町	2
錦町	4
湯前町	1
相良村	1
五木村	5
山江村	4
球磨村	31
計	101



対 応			備 考
職員派遣	任期付職員採用等	合計	
3	5	8	
23	5	28	・別途、県職員4人派遣
2	0	2	
9	1	10	
0	2	2	
0	0	0	
0	1	1	
0	1	1	
0	1	1	
1	0	1	
24	7	31	・別途、県職員4人派遣(副村長除く)
62	23	85	・未充足 16人

通信事業者と連携した通信網の多重化

- 八代・人吉間の情報通信ネットワークの強靱化に向け、通信事業者において、既設の2ルートに加え、新たに3ルート目の整備が進められ、6月末に完了した。
- これにより、既設の2ルートが被災しても通信が確保されることとなる。



スーパーシティ構想の提案

○創造的復興の起爆剤となるよう、スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定を目指し、本年4月に人吉市と共同で、国の公募に構想を提案。

○災害時の「防災」と平時の「観光」を表裏一体とした取組みなどを行っていく。

【「HITOYOSHI RIVERTY構想」概要】

【主な取組み(イメージ)】

防

くらしの「防」 防災

人吉発！災害から人命を守る仕組みづくり

NOROSHI (狼煙)

～光と声による逃げ遅れゼロ化～

SENRO (川跡)

～情報収集高度化による早期被害情報把握～

YASURAGI (安らぎ)

～避難所快適性向上によるストレス低減～

攻

くらしの「攻」 観光

光と水で地域を活性化する仕組みづくり

AKARI (灯り)

～灯りの情景による観光客誘致～

TAMARI (溜まり)

～「かわまちづくり」による滞在時間の拡大～

YAWARAGI (和らぎ)

～リアルタイムデータによる観光マーケティングの高度化～

【くらしを支えるベースインフラ】

エネルギー

大容量蓄電池・VPPを活用したレジリエスタウン

災害公営住宅をフィールドとしたゼロカーボントウン

支払い

トークンエコノミーの実現

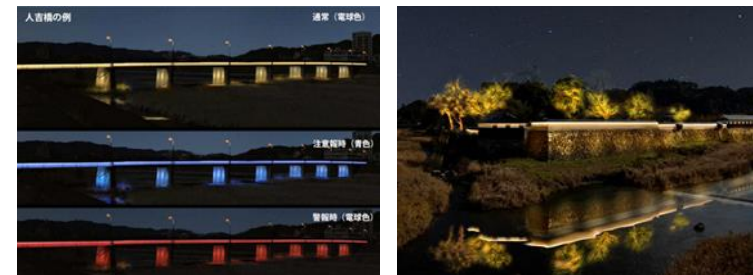
行政サービス

災害時行政手続きのデジタル化

AIチャットボットによる窓口問い合わせ対応

未来型復興を成し遂げ、住民に希望を灯し、関係人口の創出へ

■「灯り」による”避難誘導の仕組みの構築”と”観光客誘致”
 〈災害時〉 〈平時〉



■災害時の位置情報等を基に、適切な避難のための情報を提供



令和2年7月豪雨



©2010 熊本県くまモン

令和3年6月改訂

熊本県

被災された方は 病院等の窓口負担なしで受診できます

- **災害救助法の適用市町村**にお住まいで、**下記の対象保険者**に加入されており、次の①～⑤のいずれかに該当する方は、医療機関・介護サービス事業所等の窓口で**保険証と免除証明書を提示**することで、**医療保険の窓口負担や介護保険の利用料**について**支払いが不要**となります。

(令和3年12月末まで)

- ① 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をされた方
- ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負われた方
- ③ 主たる生計維持者の行方が不明である方
- ④ 主たる生計維持者が業務を廃止、又は休止された方
- ⑤ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方

対象保険者

国民健康保険・介護保険(八代市、人吉市、水俣市、上天草市、天草市、芦北町、津奈木町、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、南小国町、小国町)
熊本県医師国保組合、熊本県歯科医師国保組合、熊本県後期高齢者医療広域連合

- ・ 県外の医療機関等でも同じように受診できます。
 - ・ 入院・入所時の食費・居住費などはお支払いいただく必要があります。
 - ・ 全国健康保険協会(協会けんぽ)を含め、上記以外の保険者の取り扱いは、各保険者にお問い合わせください。
- **免除証明書、その他取扱いにご不明な点があれば、ご加入の各保険者**にお問い合わせください。

球磨川流域CO2削減住宅補助金の活用状況

- 令和3年4月から、球磨川流域地域におけるリフォームや新築時の断熱化に対する補助を開始
- 6月末時点の活用状況：96件
(新築91件・リフォーム5件)



高断熱住宅※の普及による
ゼロカーボンの推進

両立

球磨川流域地域の
復旧・復興

※冷暖房エネルギー消費量の約35%削減

補助金の概要

- 1 補助対象
球磨川流域地域(13市町村)における高性能建材(窓・ガラス、断熱材)を用いた住宅の新築・リフォーム
- 2 補助率・額
対象建材費の1/3 上限30万円

交付申請件数

(R3.6月30日現在)

市町村	件数	市町村	件数
八代市	43	水上村	0
人吉市	25	相良村	2
芦北町	7	五木村	0
津奈木町	4	山江村	1
錦町	2	球磨村	2
多良木町	4	あさぎり町	3
湯前町	3	合計	96

児童生徒の心のケアとICT教育の推進①

○児童生徒の心のケア

心のケアが必要な児童生徒数

	284人
八代	17人
芦北	21人
球磨	246人

※令和2年7月豪雨に係る児童生徒の心のケアに関する調査の人数(R2.10)

熊本豪雨スクールカウンセラー活用事業

3教育事務所の 重点支援対象校 14校に対して 教育事務所配置 SCを派遣する。	SC活動時間(拡充)
	840時間
	八代 105時間
	芦北 105時間
	球磨 630時間

○3教育事務所に4人を配置。(R3.4~)

○ICT教育の推進

熊本県

×

ICT企業等

球磨川流域
教育情報化基本構想

地域に根ざした
先進的な
ICT教育の実践

- ICT企業等(インテル、グーグル等)と意見交換を開始。(R3.5~)
今後、具体的な提案等を受け、構想を策定。(R3年度予定)

児童生徒の心のケアとICT教育の推進②

○ くまもとCOREハイスクールネットワーク事業

くまもと「夢への架け橋」ネットワーク

教育センター(山鹿)



小国(阿蘇)



第一(熊本)

球磨中央(人吉球磨)



牛深(天草)



参加する学校等

第一高校
小国高校
牛深高校
球磨中央高校
県立教育センター

○遠隔授業のための機器を購入し、遠隔授業の試行開始。(R3.7~9)

○ マイスター・ハイスクール事業

第4次産業革命を担う職業人育成

CEOによる
マネジメント



マイスター
ハイスクール
CEO

専門学校 = 指定校: 八代工業高校

産業界 =
一社) 熊本県情報サービス産業協会

○マイスター・ハイスクールCEOを7月1日から八代工業高校に配置。

○ 最先端産業教育設備の導入

○工業関係高校10校をはじめ、農業関係高校7校、商業関係高校3校を整備。(R3年度中)

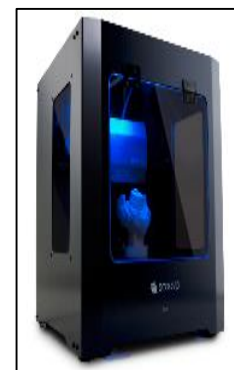
※八代工業高校、球磨工業高校、八代東高校、球磨中央高校、八代農業高校、南稜高校

◎導入設備の代表例



マシニングセンタ

数値制御により金属等の切削や穴あけなどの加工が可能であり、金属加工技術を学ぶ上で不可欠な装置



3Dプリンタ

3DCADにより設計した3Dモデルを造形するための装置



産業用ロボット

産業用ロボットの仕組みや制御方法を学習することができ、プログラミングを含めたメカトロニクス技術を学ぶ上で必要となる装置

再生可能エネルギーの導入推進によるゼロカーボン先進地の創出

球磨川水系における新規水力発電所の開発可能性調査

○ 企業局が過去に調査した地点（既往調査地点）の再評価及び球磨川水系における新規水力発電所^(※)の候補地点の検討開始

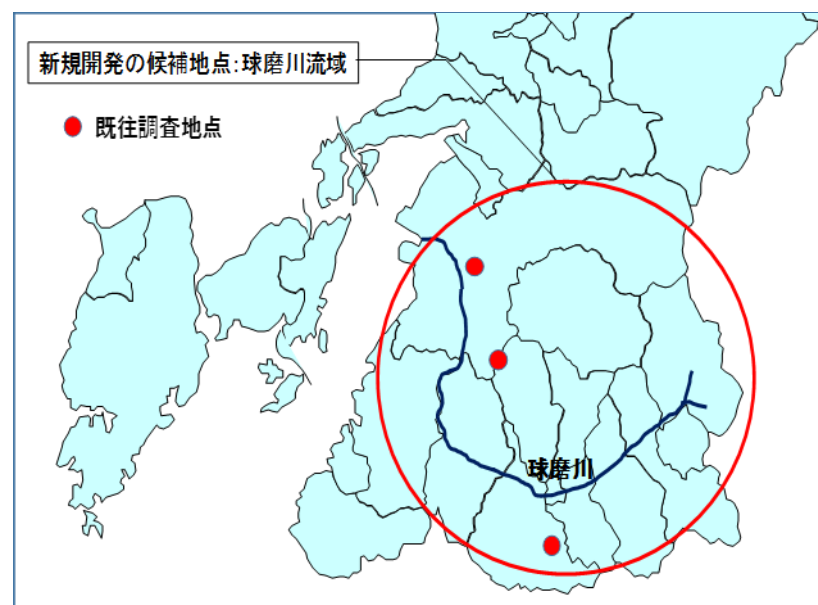
・ 既往調査地点

3か所（八代市、人吉市、山江村）

・ 新規候補地

球磨川流域10か所程度（1次選定）

※既存堰堤の活用など、流水をそのまま取水する方式を想定



「新たな再生可能エネルギーの研究」等への着手

○ 焼酎粕等の地域資源を活用した再生可能エネルギーの研究・調査のための局内プロジェクトチームの設置（6月）



電気事業等の剰余金の一部を地域貢献として還元

復旧・復興プラン関連事業への支援(一般会計への繰出金の充当)

プランの取組みの方向性	事業名(充当額)
1日も早い復旧・復興に向けた取組み Ⅲ 災害に強い社会インフラ整備と 安心して学べる拠点づくり	高等学校等通学支援事業 (281百万円)
持続可能な地域の実現に向けた 将来ビジョン Ⅱ なりわい(生業)・産業の再生 と創出	再エネ先進地創造事業 (4百万円) 球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業 (10百万円) くまもと林業大学校人財づくり事業 (47百万円) 球磨川流域水産資源回復事業 (5百万円)



市房第1発電所(水上村)

施設所在町村の振興事業への交付金(1千万円/年)の交付

町村名(関連施設名)	支援内容
湯前町(市房第2発電所)	観光・交流施設設備改修等
水上村(市房第1発電所)	気象情報配信システム整備 (スマート農業への活用)

球磨川流域大学構想

球磨川流域を1つのキャンパスと位置づけ、球磨川流域の**魅力ある自然や恵みを生かした様々な「学び」「研究」「交流」の場を創出**することで、**若者が“残り”“集まる”魅力あふれる地域の実現**を目指す。

<これまでの主な取組み>

最先端治水研究

◆ 県立大学と連携した「緑の流域治水」の最先端研究の推進と「球磨川流域治水プロジェクト」の効果的な実施

国内外の大学・研究機関有識者のとの連携・交流



R3.5 緑の流域治水研究会開催 (県庁内)

R3.4

- 熊本県立大学「緑の流域治水研究室」設置
- 緑の流域治水アドバイザー委嘱(県立大学:島谷教授)

地域課題の解決

令和3 ◆ (国内外の大学・企業や研究機関等による地域課題の解決に向けた研究の実践)

球磨川流域圏
バーチャルキャンパス

受講生募集

申込期限	令和3年8月1日(日)
受講期間	令和3年9月1日(水)～10月31日(土)
定員	先着 200名
受講料	無料

R3.9～
熊本県立大学が、球磨川流域圏の文化、歴史、環境をテーマにしたオンライン公開講座を開講

写真提供：八代市

“学び・交流”の場の創出

◆ 教育研究・地域の交流の場となるサテライトオフィスの開設



R3.3 熊本県立大学「クマラブ」設置

県南における熊本県立大学の研究活動、教育活動の拠点「球磨ラブラトリー」(略称「クマラブ」)を開設

令和2年7月豪雨発災1年関連行事一覧

《犠牲者追悼式》

行事名	開催日・会場
令和2年7月豪雨犠牲者追悼式	開催日:7月4日(日) 会場:坂本中学校
	開催日:7月4日(日) 会場:人吉スポーツパレス
	開催日:7月4日(日) 会場:つなぎ文化センター
	開催日:7月25日(日) 会場:芦北町民総合センター(しろやまスカイドーム)
	開催日:8月1日(日) 会場:球磨中学校

《関連行事等》

行事名	開催日・会場
豪雨災害復興支援 「球磨焼酎フェア」 「災害復興パネル展」	開催日:6月2日(水)～7月6日(火) 会場:大丸福岡天神店 本館地下2階
坂本町応援企画 「坂本町の暮らしと信仰」	開催日:6月22日(火)～9月26日(日) 会場:八代市立博物館未来の森ミュージアム常設展示室
七夕de復興in淡島	開催日:6月24日(木)～7月7日(水) 会場:淡島神社駐車場(藤田商店仮店舗横)
銀座熊本館における人吉球磨 フェア	開催日:6月29日(火)～7月12日(月) 会場:銀座熊本館

行事名	開催日・会場
人吉復興ビジターセンター開設	開催日:7月1日(木)～令和4年3月31日(木) 会場:肥後銀行人吉支店1階ホール
令和2年7月豪雨災害復旧・復興 本部会議(第8回)	開催日:7月2日(金) 会場:県庁本館5階審議会室
浸水住宅復旧のための講習会	開催日:7月2日(金)、3日(土) 会場:ホテル熊本テルサ(7月2日) 山鹿市市民交流センター(3日)
ひとよし再興(最高)フォトコンテ スト	開催日:7月3日(土)～25日(日) 会場:モゾカタウン

行事名	開催日・会場
0704復興イベント	開催日:7月4日(日) 会場:人吉復興コンテナマルシェ
「さかもと復興商店街」、広域交流センター「さかもと館」合同オープニングセレモニー	開催日:7月3日(土) 会場:「さかもと復興商店街」(道の駅坂本隣接地)
「HASSENBA」グランドオープン	開催日:7月3日(土) 竣工式・内覧会 7月4日(日) グランドオープン 会場:HASSENBA
令和2年7月豪雨災害復興支援 鎮魂と希望の集い『支えあおう熊本！今こころひとつに』	開催日:7月4日(日) 会場:人吉市九日町・紺屋町一帯
「川があふれた！まちが沈んだ日ー生きる力をくれたキジ馬くん」出版記念イベント	開催日:7月4日(日) 会場:ひまわり亭
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【くまモン×人吉・球磨写真展】	開催日:7月6日(火)～25日(日) 会場:くまモンスクエア人吉駅特設会場
令和2年7月豪雨復興支援事業 坂本を語ろう	開催日:7月11日(日) 会場:桜十字ホールやつしろ
人吉・球磨観光PR展示 (「アニメ 夏目友人帳展」に併設)	開催日:7月22日(木)～8月15日(日) 会場:鶴屋 東館7階 鶴屋ホール
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【くまモンスタンプラリー】	開催日:7月22日(木)～25日(日) 会場:くまモンスクエア(25日のみ人吉駅)

行事名	開催日・会場
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【「旅愁」SP版視聴会】	開催日:7月22日(木)～25日(日) 会場:ひとよし森のホール
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【みんなサンくまステージ】	開催日:7月22日(木)～24日(土) 会場:人吉復興コンテナマルシェ
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【HASSENBA 応援企画】	開催日:7月22日(木)～24日(土) 会場:HASSENBA
くまモンのみんなサンくまプロジェクト ～人吉・球磨は元気だモン♪～ 【くまモン・ミュージックフェスティバル】	開催日:7月25日(日) 会場:人吉駅及び駅前広場
銀座熊本館における球磨焼酎フェア	開催日:7月27日(火)～8月9日(月) 会場:銀座熊本館
豪雨災害から1年 「元気ばい！くまもと県南フェア」	開催日:7月30日(金)～31日(土) 会場:大丸福岡天神店 パサージュ広場
人吉球磨復興PRコーナー出展	開催日:7月30日(金)～8月5日(木) 会場:東京メトロ銀座駅(ふるさとPRコーナー)
こころとからだをリフレッシュ「あそサマーキャンプ」球磨村小学生招待プログラム	開催日:8月9日(月)～11日(水) 場所:YMCA阿蘇キャンプ

※日程順に記載しています。
※概要及び問合せ先については、県HPに掲載しています。